

WHITE LIGHT/BLACK RAIN

スティーヴン・オカザキ監督作品

HBO DOCUMENTARY FILMS Presents A FARALLON FILMS Production

WHITE LIGHT/BLACK RAIN A Film by STEVEN OKAZAKI

Produced, Directed & Edited by STEVEN OKAZAKI

Co-Producers TARO GOTO, ATSUKO SHIGESAWA

Associate Producers MICHAEL WELSON, JULES GREENBERG, JASON COHEN

Consulting Producers TOMOKO WATANABE, KATHLEEN SULLIVAN

Director of Photography TAKASHI KANASAKI

STEVE CONDIOTTI, MASAFUMI ICHINOSE

For HBO DOCUMENTARY FILMS Consulting Editor GEOFF BARTZ, A.C.E.

Supervising Producer SARA BERNSTEIN

Executive Producers SHEILA NEVINS, ROBERT RICHTER

2007年/アメリカ/時間26分/カラー 配給:シグロ・フィルムズ

協力:岩波ホール ANF-Hiroshima 特別推薦:日本東水難被害者団体協議会

公式サイト <http://www.zaiefilms.com/hiroshimanagasaki>

白い光、黒い雨、あの夏の記憶

被爆者14人の証言 勇気という名の希望

アカデミー賞ドキュメンタリー映画賞に
本作は、輝いたスティーヴン・オカザキ監督が、

25年の歳月をかけて完成させた渾身のドキュメンタリー映画である。

広島、長崎の原爆投下から60余年を経た今、日本でも記憶が薄れつつあるが、アメリカをはじめ世界の多くの人々はいまだその被害の実態を知らず、被爆者の現実についてはほとんど知られていない。

原爆の被害に対する認識と関心を、世界に呼び起こしたいと考えたオカザキ監督は、被爆者が高齢化していくなか、せきたてられるように日本を訪れ、実に500人以上の被爆者に会い、取材を重ねた。14人の被爆者の証言と、実際の爆撃に関与した4人のアメリカ人の証言を軸に、貴重な記録映像や資料を交え、ヒロシマ・ナガサキの真実を包括的に描いた本作。被爆者の想像を絶する苦悩に向き合い、彼らの生きる勇気と尊厳を深く受け止め、私たち観る者を圧倒する。

今、作らなければ 今、伝えなければ スティーヴン・ オカザキ監督は

1952年ロサンゼルス生まれの日系3世。英訳の「はだしのゲン」を読み、広島、長崎の原爆投下に関心を深めたオカザキは、1981年に広島を初めて訪れ、被爆者取材した第1作「生存者たち」(82)を発表。日系人強制収容所を描いた作品「待ちわびる日々」(91)でアカデミー賞ドキュメンタリー映画賞を受賞した。アメリカでは原爆投下が「戦争を早期に終わらせ、日米両国民の命を救った」との認識が強い。オカザキ監督はヒロシマ・ナガサキの事実を伝え、核の脅威を世界に知らしめることを自分の役目と考えるようになる。胎内被爆の現実にも迫った中篇「マッシュルーム・クラブ」(05)は2005年アカデミー賞にノミネートされた。そして今年完成した「ヒロシマナガサキ」は彼のこれまでの映画人生のひとつの到達点ともいえる。

いつか来た道に、 ふたたび戻らないために 現在、

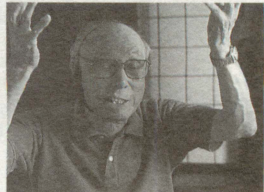
世界には広島に落とされた原子爆弾の40万個に相当する核兵器があるといわれる。

また2001年9月11日の同時多発テロ以降、世界的緊張とともに核拡散の危機が急速に高まり、核兵器による大量殺戮が現実化する恐れも出てきた。このような状況のなか、「ヒロシマナガサキ」は、2007年、広島に原爆が投下された日である8月6日に、全米にむけてテレビ放映される予定である。本作は、アメリカのみならず世界中の人々に、広島、長崎で何が起きたかを知らしめ、核兵器の脅威に対して強い警鐘を鳴らす作品になるだろう。

ヒロシマナガサキ
WHITE LIGHT/BLACK RAIN

原題 "WHITE LIGHT/BLACK RAIN:
The Destruction of Hiroshima and Nagasaki"
監督 スティーヴン・オカザキ
2007年/アメリカ/1時間26分/カラー
配給 シンロー・ザジフィルムズ
協力 岩波ホール・ANT・Hiroshima
公式 HP <http://www.zaziefilms.com/hiroshimanagasaki>
特別推薦:日本原水爆被害者団体協議会

後援:広島県、広島市、広島市教育委員会
財団法人広島平和文化センター
長崎県、長崎市、長崎市教育委員会
財団法人長崎平和推進協会
© 2007 Home Box Office, Inc. All rights reserved.



全てを忘れてしまいたい記憶...

心と体の両方に傷を負いながら生きている
苦しみは、私たちでも十分です。

下平作江さん 長崎の被爆者(インタビュアー)

宮沢りえさん 女優

原爆をこおして戦争を語った最高の作品。
映像とともにリアルな証言が心をうつ。

日野原重明さん 聖路加国際病院理事長

特別鑑賞券1,500円(税込)

ペア券2,900円(税込) 好評発売中

(お二人様・岩波ホール窓口のみ)

●岩波ホールチケットガイド(ビル1F)の他、都内プレイガイドにて

●当日料金(税込)1,800円/シニア・学生1,500円

●団体ご鑑賞に関するお問い合わせは、シングル(03-5343-3101)まで

7月28日(土)よりロードショー

岩波ホール

03-3262-5252

<http://www.iwanami-hall.com/>

月～土・祝 11:30 | 2:00 | 4:30 | 6:50

日曜 11:30 | 2:00 | 4:30 | —

●9月15日(土)、16日(日)6:50の回休映・入替制/自由席定員制

●8月12日(日)6:50の回、8月26日(日)6:50の回、英語字幕版上映

●この映画はHDVによる上映になります

●地下鉄(都営三田線・新宿線/
半蔵門線)神保町駅A6出口スグ
●JR(中央線)水道橋駅
または御茶の水駅下車徒歩12分
●神保町交差点角